

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

さざんか散るに似て初雪舞う

茶屋 木山 輝子

久し振り華やかかなりてよき年に

宝谷 長尾 智恵

今夜から雪慌てて取込んだ大根の三つ足

茶屋 長谷川由美子

財布の底が抜けてしまった年の瀬のレシート

茶屋 藤原 寿郎

新しい障子の明るさによい年を祈る

神戸上 柴田 篤子

微かな体臭残しセラニウムの冬ごもり

茶屋 小林 道子

律儀な日めくり格言も楽しく何時迄と思う

生山 渡邊 圭子

短歌

正月は孫を土産の帰省客 静かな部屋に戻る賑わい

年男頂き目指し昇り籠 人生の旅阿修羅の如く

青学の負けてたまるかきいている 箱根駅伝意志の強さよ

如月も凍てつく路面は怪我のもと 武道館にてノルディックウオーク

酷寒に白くもやいる日野川の 岩に佇む川鶺や哀し

湯河 山田 司郎

下石見 浅川 三郎

下石見 浅川 三郎

上石見 福田 輝之

上石見 福田 輝之

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。個人での投稿もできますので、お気軽にお送りください。

俳句

駄句駄句会編集室

来年へ 思い込めつつ 餅丸め

萩原 岡本 健三

寒椿 咲くも落つるも ひっそりと

宮内 木村萬佐子

堀端に 石路の花観つ 遊覧船

宮内 田邊登志美

散る淋し 残るも濃くて 紅葉かな

宮内 船越 裕子

ほどほどに 過ぎた幸せ 息白し

矢戸 和田 淑子

友は逝く 落葉しぐれの やみ間あり

神戸上 笹間 玲子

秋の君 マチスカラーの シャツ召して

下石見 矢田貝 元

川柳

駄句駄句会編集室

デジタル化 裏金づくりは 現ナマで

下石見 矢田貝 元



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

2月の日程

2月・3月はお休みします。

「鬼・怒る」



両手の人差し指を伸ばして頭に寄せ、鬼の2本の角を表す。

「節分」



左手を丸め、たくさんの豆を持っているような形にする。



右手で豆を取って、左からパッパッパッと豆をまく動作をする。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

